

# 管内市町の概要

胆振・日高管内 4市14町  
 総面積／8,508.33km<sup>2</sup>  
 総人口／428,345人



**むろらんし 室蘭市** ■面積／81.01km<sup>2</sup> ■人口／76,386人

特色：日本遺産(炭鉄港)、日本13大工場夜景、室蘭やきとり、カレーラーメン、ポルタ、昆布、ホタテ、うずら卵  
 名所：地球岬、白鳥大橋記念館、イルカ・クジラウォッチング、測量山、名勝ピリカノカ  
 ●市名の由来：アイヌ語「モルエラニ」(小さな坂道の下りた所の意)が転訛したもの。



**とまこまいし 苫小牧市** ■面積／561.66km<sup>2</sup> ■人口／166,756人

特色：苫小牧港、紙、自動車部品、ホッキ貝、アイスホッケー  
 名所：樽前山、ウトナイ湖、ノーザンホースパーク、nepia アイスアリーナ、オートリゾート苫小牧アルテン、ミール展示館  
 ●市名の由来：アイヌ語「ト」(沼の意)と「マコマイ」(山奥に入っていく川の意)が転訛したもの。



**のぼりべつし 登別市** ■面積／212.21km<sup>2</sup> ■人口／44,349人

特色：登別地獄まつり、登別温泉湯まつり、登別ブランド推奨品、登別閻魔やきそば、地獄の谷の鬼花火  
 名所：登別温泉、登別地獄谷、のぼりべつクマ牧場、登別マリパークニクス、登別伊達時代村、カルルス温泉、大湯沼川天然足湯  
 ●市名の由来：アイヌ語「ヌブルベツ」(色の濃い川の意)が転訛したもの。



**だてし 伊達市** ■面積／444.21km<sup>2</sup> ■人口／31,747人

特色：伊達武者まつり、藍染め、史跡北黄金貝塚公園、有珠メロン、伊達野菜  
 名所：伊達市観光物産館、有珠山、有珠善光寺、だて歴史文化ミュージアム、北湯沢温泉郷  
 ●市名の由来：この地を開拓した仙台藩の巨匠伊達家一門に由来し命名したもの。  
 ※平成18年合併(伊達市・大滝村)



**とようらちょう 豊浦町** ■面積／233.57km<sup>2</sup> ■人口／3,555人

特色：いちご、豚肉、ホタテ、世界ホタテ釣り選手権大会  
 名所：インディアン水車公園、噴火湾展望公園、礼文華海岸、天然豊浦温泉しおさい  
 ●町名の由来：未永く豊であってほしいという願いと農産物・海産物が豊富でかつ内浦湾に面しているところから命名されたもの。



**そうべつちょう 壮瞥町** ■面積／205.01km<sup>2</sup> ■人口／2,383人

特色：昭和新山国際雪合戦、そうべつりんごまつり、高級菜豆、さくらんぼ、ぶどう  
 名所：昭和新山、有珠山、洞爺湖、オロフレ峠、壮瞥公園、壮瞥滝、北の湖記念館、壮瞥温泉、蟻渓温泉  
 ●町名の由来：アイヌ語「ソーベツ」(滝の川の意)が転訛したもの。



**しらおいちょう 白老町** ■面積／425.64km<sup>2</sup> ■人口／15,406人

特色：白老牛、しいたけ、虎杖浜たらこ、鶏卵  
 名所：ウボボイ(民族共生象徴空間)、ポロトミンタラ、ポロトの森、史跡白老仙台藩陣屋跡、倶多楽湖  
 ●町名の由来：アイヌ語「シラウ・オイ」(蛇の多い所の意)が転訛したもの。



**あつまちょう 厚真町** ■面積／404.61km<sup>2</sup> ■人口／4,282人

特色：田舎まつり、厚真産ハスカップ、さくら米(ななつばし)、あづまジギスカン、サーフィン  
 名所：こぶしの湯あつま、浜厚真海岸、大沼野営場  
 ●町名の由来：アイヌ語「アツマム」(向こうの湿地帯の意)が転訛したもの。



**とよあけちょう 洞爺湖町** ■面積／180.87km<sup>2</sup> ■人口／8,046人

特色：洞爺湖有珠山ジオパーク、洞爺湖ロングラン花火大会、ホタテ、馬鈴薯、長いも、セルリー  
 名所：洞爺湖、洞爺湖温泉、西山山麓火口散策路、浮見堂公園  
 ●町名の由来：地域住民に親しまれている洞爺湖にちなんだもの。  
 ※平成18年合併(虻田町・洞爺村)



**あびらちょう 安平町** ■面積／237.16km<sup>2</sup> ■人口／7,300人

特色：雪だるま小包、アサヒメロン、チーズ  
 名所：道の駅「あびら D51ステーション」、せいごドーム、菜の花畑  
 ●町名の由来：勇払川の支流の安平川に由来し、語源はアイヌ語で「アラ・ピラ・ベツ」(片側が岸になっている川)である。  
 ※平成18年合併(早来町・追分町)



**むかわちょう むかわ町** ■面積／711.36km<sup>2</sup> ■人口／7,322人

特色：鶴川ししゃも、ほべつメロン、カムイサウルス・ジャポニクス(通称：むかわ竜)  
 名所：一級河川「鶴川」、道の駅「むかわ四季の館」、たんぼ河川緑地公園、穂別博物館、穂別キャンプ場、富内銀河ステーション、ほべつ道民の森  
 ●町名の由来：アイヌ語の「ムッカ・ベツ」(海の上げ潮のために、河口が砂でふさがれる状態のこと)に由来したもの。  
 ※平成18年合併(鶴川町・穂別町)



**ひだかちょう 日高町** ■面積／992.07km<sup>2</sup> ■人口／11,105人

特色：軟白ネギ、ひだか樹魂まつり、門別ししゃも祭  
 名所：一級河川「沙流川」、日勝峠、沙流川温泉ひだか高原荘、門別温泉とねつこの湯、道営門別競馬場  
 ●町名の由来：日高山脈に由来する。  
 ※平成18年合併(日高町・門別町)



**ひらとりちょう 平取町** ■面積／743.09km<sup>2</sup> ■人口／4,526人

特色：びらとりトマト・和牛、二風谷イタ・アットウシ、食の祭典  
 名所：義経神社、すずらん群生地、二風谷アイヌ文化博物館  
 ●町名の由来：アイヌ語「ピラウトゥル」が転訛したもので、「ピラ」は丘陵の急斜面、「ウトゥル」は間の意で両崖の間にある町。



**にかっぱちょう 新冠町** ■面積／585.71km<sup>2</sup> ■人口／5,135人

特色：ピーマン、アスパラ、たこ、レコード、軽種馬産地  
 名所：サラブレッド銀座、判官館森林公園、レ・コード館、新冠温泉  
 ●町名の由来：アイヌ語「ニカプ」(ニレの木皮の意)が転訛したもの。



**うらかわちょう 浦河町** ■面積／694.30km<sup>2</sup> ■人口／11,435人

特色：銀葉、ウニ、日高昆布、夏いちご  
 名所：うらかわ優駿ヒレツジ「AERU」、JRA 日高育成牧場、五色渓谷、赤心社記念館、優駿さくらロード  
 ●町名の由来：アイヌ語「ウララベツ」(霧深き川の意)が転訛したもの。



**さまにちょう 様似町** ■面積／364.30km<sup>2</sup> ■人口／3,885人

特色：冬島昆布、アボイの火まつり、アボイ岳ジオパーク  
 名所：親子岩、アボイ岳、幌満峡、エンルム岬、様似山道、等湯院(北海道遺産)  
 ●町名の由来：アイヌ語「サンマウニ」(朽ち木のある所の意)が転訛したもの。



**えりもちょう えりも町** ■面積／284.00km<sup>2</sup> ■人口／4,167人

特色：日高昆布、鮭(銀葉)、ウニ、モガニ(風極)、マツカワ(王鱒)、真つぶ、えりも短角牛  
 名所：襟裳岬(名勝ピリカノカ)、襟裳岬風の館、豊似湖、黄金道路、猿留山道  
 ●町名の由来：アイヌ語「エンルム」(突き出た頭「岬」の意)が転訛したもの。



**しんひだかちょう 新ひだか町** ■面積／1,147.55km<sup>2</sup> ■人口／20,560人

特色：蜂蜜、三石昆布、みついし牛、太陽の瞳(ミニトマト)、みついし花だより(花き)、競争馬の生産頭数日本一  
 名所：二十間道路桜並木、三石海浜公園、真歌公園  
 ●町名の由来：日高山脈のふもととの街として、子どもから大人まで「ひだか」に愛着を感じており、新町の飛躍・発展の期待が込められたもの。  
 ※平成18年合併(静内町・三石町)

※面積は令和5年10月1日現在全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)。 ※苫小牧市、伊達市、壮瞥町、厚真町及び安平町は境界の一部が未定のため参考値を使用  
 人口は令和6年1月31日現在住基ネットにおける人口【参考値】(北海道総合政策部地域行政局市町村課)